



茶の湯と 煎茶道の 知っ得マナー

もてなしを拝見する

お茶会の案内をいただいたら、
先方に出欠の返事を早めに出す事。
また当日は、必ず定刻までに到着するようにします。
室内を歩く時は、畳の縁は踏まないように。
お茶席では、上座、下座が決まっています。
正客(主賓)から順に上座から座ります。
初心者は正客の席は避けて、
ベテランの方をお願いしましょう。
正客が客の代表として、
亭主(招く側)と道具などについて問答をします。
その席のテーマや、客を
楽しませるさまざまな趣向が用意されているはずです。

煎茶道と茶の湯との違い

基本マナーに関しては、比較的
自由な煎茶道も同様です。
煎茶道が茶の湯と特に違うことは一煎目、
二煎目と二回お茶をふるまわれることです。
お茶のある良い時間を共に過ごす
という考えには変わりありません。



お菓子をいただく

出されたお菓子は一つずつ懐紙に取り分け、
次の人にまわします。「お菓子をどうぞ」と
声をかけたらいただきます。お菓子にも行
事や風物、季節などが盛り込まれているの
でじっくり鑑賞しながらいただきます。

茶碗は、いちばん見栄の良いところが正面。お
客様には正面を向けてお出しします。
お茶を出していただいた側は「せつかくの名
器に申し訳ない」という謙虚な気持ちから正面
をはずしてお茶をいただきます。

前の人に「もう一服いかがですか？」
次の人に「お先に」と声をかけてから右手で茶
碗を取り、左手の手のひらにのせ、時計回りに
軽く2回転かし正面をよけて
いただきます。

「大変けっこうでございます。」

飲み終わったら、指先で茶碗の縁を軽く拭っ
て、茶碗の正面を亭主に向けてかえします。



持ち物

基本的な持ち物は、懐紙、ようじ、扇子
の3つ。懐紙はお菓子をいただくとき、
指先を拭く時などさまざまに使います。
ようじはお菓子をいただくときに使
うもの。一般的には黒文字と呼ばれる
ようじ。扇子は涼を得るためではなく、
挨拶の時などに使うもの。膝の前に置
くことで、相手に敬意を表します。また、
洋服の時は白いソックスを忘れずに。

